

本模擬問題における問題等の著作権はすべて東京CPA会計学院に帰属します。無断転載・二次利用は固く禁止いたします。

第4問 (20点)

ZNK製作所は本社を熊本、工場を北海道に有しており、工場会計を独立させている。材料の発注と製品の販売は本社が行う。材料は工場の材料倉庫に直接搬入し、工場で製造された製品は完成後ただちに本社に搬送され、本社の製品倉庫で保管される。本社工場取引に内部利益の付加はなく、材料の購入を含め支払いに関する取引はすべて本社が行っている。なお、1月1日における工場の元帳諸勘定残高は次のとおりである。

|   |      | 残高試算表   |         | (単位：円) |         |
|---|------|---------|---------|--------|---------|
| 材 | 料    | 350,000 | 賃金・給料   |        | 100,000 |
| 仕 | 掛品   | 150,000 | 本       | 社      | 400,000 |
| 製 | 造間接費 | 0       |         |        |         |
|   |      | 500,000 | 500,000 |        |         |

下記の(1)~(5)は、当製作所の1月中の取引の一部を要約したものである。工場および本社で行われる仕訳をそれぞれ示しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこととするが、工場で使用する勘定科目は上記残高試算表に示されているものに限る。なお、仕訳がない場合は仕訳の借方科目欄に「仕訳なし」と記入すること。

|   |   |         |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 現 | 金 | 減価償却累計額 | 売 | 上 | 原 | 価 | 製 | 品 | 工 | 場 |
| 売 | 上 | 買       | 掛 | 金 | 売 | 掛 | 金 | 当 | 座 | 預 |
|   |   |         |   |   |   |   |   | 金 | 未 | 収 |
|   |   |         |   |   |   |   |   |   | 入 | 金 |

- (1) 材料 800,000 円を掛けにて購入し、当該材料が工場の材料倉庫に搬入した。
- (2) 工場の従業員への給与 1,785,000 円を現金で支払った。
- (3) 当月の機械の減価償却費を計上する。機械の減価償却費の年間見積額は 6,240,000 円である。
- (4) 製品 4,300,000 円が完成し、本社の製品倉庫に搬送・保管された。
- (5) 当月に本社は製品 4,000,000 円を 7,000,000 円で販売し、代金は翌月受け取りとした。

**第 5 問 (20点)**

Z & K 製作所では、原料を工程の始点で投入し、加工を施すことで製品 X を量産している。原価計算の方法としては、単純総合原価計算を採用している。なお、月末仕掛品の評価方法は平均法によっている。次の [資料] にもとづいて、以下の各問に答えなさい。

**[資料]**

[生産データ]

|       |          |       |  |
|-------|----------|-------|--|
| 月初仕掛品 | 1,000 kg | (50%) |  |
| 当月投入  | 4,000    |       |  |
| 合計    | 5,000 kg |       |  |
| 正常仕損  | 250      |       |  |
| 月末仕掛品 | 1,000    | (50%) |  |
| 完成品   | 3,750 kg |       |  |

(注) カッコ内は加工進捗度を示す。

[原価データ]

|         |              |
|---------|--------------|
| 月初仕掛品原価 |              |
| 原料費     | 2,000,000 円  |
| 加工費     | 936,875      |
| 小計      | 2,936,875 円  |
| 当月製造費用  |              |
| 原料費     | 9,400,000 円  |
| 加工費     | 9,467,125    |
| 小計      | 18,867,125 円 |
| 合計      | 21,804,000 円 |

**問 1** 正常仕損は工程の途中で発生したものとして、度外視法により計算した場合の以下の総合原価計算表に入る①～④の金額を計算し、⑤完成品単位原価 (単位: 円/kg) を計算しなさい。

総合原価計算表

(単位: 円)

|         | 原料費        | 加工費        | 合計         |
|---------|------------|------------|------------|
| 月初仕掛品原価 | 2,000,000  | 936,875    | 2,936,875  |
| 当月製造費用  | 9,400,000  | 9,467,125  | 18,867,125 |
| 合計      | 11,400,000 | 10,404,000 | 21,804,000 |
| 月末仕掛品原価 | ①          | ②          | ?          |
| 完成品総合原価 | ③          | ④          | ?          |

**問 2** 正常仕損は工程の終点で発生し、処分価額が 30,500 円だったと仮定し、その正常仕損費をすべて完成品に負担させる場合の完成品単位原価 (単位: 円/kg) を計算しなさい。